

## 令和5年度に新しく取り組む不登校児童・生徒支援について

不登校児童・生徒の増加については、中野区においても喫緊の課題である。不登校により学びにつながることをできない児童・生徒をゼロにすることを目指し、令和5年度に新しく取り組む不登校児童・生徒への支援について、以下のとおり報告する。

### 1 校内別室（校内教育支援センター）の設置の促進と支援の充実

自分のクラスに入りづらい児童・生徒が、校内の落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できる校内別室（校内教育支援センター）の設置を促進する。

【重点モデル校】第二中学校、北中野中学校、中野中学校

これまで校内別室での指導は教職員が交代であったり、1日の中で継続的に指導できる教職員がいないという課題があった。重点モデル校の3校には、児童・生徒へ継続的な指導が行える校内別室指導支援員を配置することで、一人ひとりに合ったきめ細かい支援を行っていく。その成果について検証を行い、今後の校内別室での支援の在り方を検討する。

### 2 バーチャル・ラーニング・プラットフォームの構築

東京都が構築するオンライン上の仮想空間（バーチャル・ラーニング・プラットフォーム）を活用し、児童・生徒の新たな居場所・学びの場を構築する。

児童・生徒はアバターを用いて仮想空間内を移動し、相談スペース（オンライン相談員に相談）、交流スペース（友人と交流）、授業スペース（オンライン学習）等に参加し、学習に取り組んだり相談員や友人と交流したりできるようになる。

本事業については、令和5年9月開始に向けて準備を進めていく。

【別紙】

校内別室(校内教育支援センター)の様子



バーチャル・ラーニング・プラットフォームのイメージ

